

## 測定バッジの使用について

測定バッジを使用して官公庁施設の測定を行う場合、国土交通省大臣官房官庁営繕部から送付された「官庁営繕部における平成 15 年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」(平成 15 年 4 月 1 日付け国営建第 1 号・国営設第 1 号)に従うとともに、次により行ってください。

### 1. 測定バッジの特徴と注意点について

- ① 測定バッジは、放置しておくだけで空気中に含まれている化学物質を吸着する、取扱いの簡易なものです。
- ② 測定バッジには表と裏(品質保証期限が記載されている側が裏)があり、表側の面から化学物質を吸着します。表側の面をふさがないように測定してください。

#### <測定バッジ>



測定バッジ F(表)



測定バッジ V4(表)



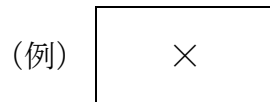
測定バッジ F(裏)

- ③ 測定バッジは、測定を開始するまでの間は、開封しないでください。
- ④ 測定バッジには品質保証期限がありますので、その期限内にご使用ください。  
(品質保証期限は、測定バッジの外袋のラベルに記載されています。)
- ⑤ 購入後、すぐに測定しない時は 35℃以下の常温で保存してください。

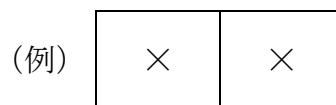
## 2. 測定の方法について

- ① 測定対象室の面積に応じて、次のような場所で測定してください。(可能なら、壁から1m以上離れた場所としてください。)

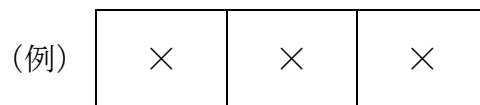
(イ) 室面積が 50 m<sup>2</sup> 以下の場合: 室の中央で測定



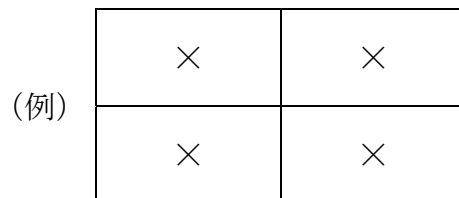
(ロ) 室面積が 50 m<sup>2</sup> を超え 200 m<sup>2</sup> 以下の場合: 室を 2 等分してそれぞれの中央で測定



(ハ) 室面積が 200 m<sup>2</sup> を超え 500 m<sup>2</sup> 以下の場合: 室を 3 等分してそれぞれの中央で測定



(ニ) 室面積が 500 m<sup>2</sup> を超える場合: 室を 4 等分してそれぞれの中央で測定



- ② 測定バッジの設置場所は、高さおおむね 1.2~1.5m 程度のところとしてください。

- ③ 測定バッジは、テーブルなどの上に置くか、上から吊してご使用ください。

(イ) テーブルなどの上に置く。

テーブルなどが木製の場合、その上に直接測定バッジを置かず、底の浅い陶磁器やガラス製の皿の上に測定バッジを置いてから、テーブルなどの上に置くようにしてください。

また、テーブルなどの高さが低い場合、適当な台(金属、プラスチック製等)を机の上に置いてから、皿をのせてください。

その際、必ず測定バッジの表面が上向きになるように置いてください。

(ロ) 天井からひもなどで吊るす。

測定中に床に落ちることがないようにし、また、照明設備にあまり近づけないようにしてください。

- ④ 測定バッジを袋から取り出します。  
外袋を開ける時は、ファスナーを切り落とさないよう、必ず切り込み口から開封するようにしてください。袋は外袋と中袋の二重になっていますが、どちらも測定バッジを分析機関へ返送する際に使用しますので、破いたり、穴を開けたりせずに、大切に保管してください。  
なお、測定バッジは解体しないでください。

両側にある切り込み口から開封します。



外袋

中袋

- ⑤ ①②③で決めておいた場所に、④で取り出した測定バッジを置いて(又は吊して)、24 時間(工程等の都合により 24 時間測定が行えない場合は 8 時間)測定してください。  
24 時間測定の場合、測定は何時に始めても結構ですが、8 時間測定の場合は午後 2 時～3 時が測定時間の中央となるよう、10 時 30 分～18 時 30 分の時間帯で測定してください。  
測定回数は 1 回とし、複数回の測定は不要です。  
測定バッジの外袋のラベルに、測定開始時刻、測定終了時刻、測定の合計時間を記入してください。

- ⑥ 正確な濃度分析を行うために測定時間経過後、測定バッジをそれぞれ中袋と外袋に二重に入れ、いずれも口についているファスナーをしっかりと封じます。  
また、袋が破れないように取り扱いに注意してください。



- ⑦ 測定が 24 時間を多少超えても支障ありませんが、あまりに長時間すぎる測定はデータに誤差が生じますので、**40 時間以内に終了**してください。

測定時間が 8 時間未満又は 40 時間を超えた場合は、分析ができませんのでご了承ください。

### 3. 分析機関への送付について

測定終了後、お手持ちの封筒又は箱に測定バッジを入れた袋と必要事項を記入した分析結果報告書を入れ、分析機関(下記住所)に直接お送りください。

同時に複数の箇所を測定する場合以外、1 つずつでも測定後はすぐに送ってください。  
(変質防止のため)

分析機関までの送料はご負担ください。

普通郵便をご利用の場合、厚みが 1cm を超えるため、定形外郵便物になりますのでご注意ください。

<測定終了後の送付先(分析機関)>

〒300-0332	茨城県稲敷郡阿見町中央 8-5-1
	株式会社 三菱化学アナリテック内
	一般財団法人 ベターリビング分室
	TEL 029-887-5346
	FAX 029-887-0779

分析機関に到着後、約 10 日以内にクロネコメール便にて分析結果を発送しますが、お急ぎの方は分析機関に到着後 2~3 日で分析結果を発送する「特急分析」をご利用ください。

「分析・報告料」は、測定バッジの価格に含まれますが、「特急分析」は別途 2,000 円/個(税別)が必要となります。

「特急分析」をご希望の方は、必ず事前に分析機関まで FAX(029-887-0779)にてお申し込みください。(お申し込みの際は、「特急分析依頼用紙」をご使用ください。)振込みは次の銀行へお願いいたします。(振込み手数料は、お客様ご負担となります。)

株式会社三菱化学アナリテック 筑波銀行 阿見支店 普通口座 032892
--------------------------------------

資料等は分析結果がお手元に届くまでなくさないでください。
------------------------------